



生徒へ配付したワークカード(画像1)



選んだ物件を理由とともに投票(画像2)

活用場面

一斉学習  
教師による教材の提示

個別学習  
思考を深める学習

協働学習  
発表や話し合い

活用した機器等

Chromebook  
プロジェクター  
電子黒板

活用したアプリ等

ロイロノート

学習のねらい

近い将来経験するであろう「一人暮らし」を題材に、住まいを選ぶ際に必要なことを具体的に考え、その知識を身につける。クラスメイトの物件の選択理由を知ることで、個人の価値観の違いを知り、自身を振り返り、大切にしたいことを再確認する。

学習の流れ

**導入**

本時の目標(学習のねらい)を確認後、『画像1』の地図と3種類の物件概要のカードから、どの物件を選ぶか各自で考える。『画像1』の3色のカード(物件の間取り付き)から、自分が選んだ物件の色カードに選んだ理由を記入する。  
記入したカードをもとに、隣の人とペアワークで意見交換をする。

**展開**

色カードを提出箱へ提出し、クラス全員の意見を共有し、どの物件が一番人気があるか色で確認する。『画像2』それぞれの物件の選択理由を1人ずつ回答し、どんなところに着目して物件を選んだのかを発表する。物件選びに必要な項目を「不動産広告を見るポイント」のスライドで確認する。

**まとめ**

自分の選んだ物件について、必要な項目を再確認する。(『画像1』のワークシートに記入して確かめる。最初に提出した色カードも間取りと物件選びの理由を分けて添付する)  
最後にワークシートに「気づいたこと・感じたこと」を記入して提出する。

ココでICTを活用!

**導入**

- 物件概要や地図など、物件を選ぶ際に必要なデータを一度に配付した。カードは物件別に色分けし、どの物件を選んだかすぐにわかるようにした。

**展開**

- 物件選びで提出箱を使い、クラス全員の考えを一度に共有させた。
- 教員による説明や指示、生徒の発表はプロジェクターでホワイトボードに映すようにした。

**まとめ**

- 最初に使ったカードをまとめのワークシートに添付し(カードの再利用)、完成したワークシートを提出箱に提出させた。
- 以上をすべてロイロノートで行った。

活用のメリット、実践の工夫・振り返り等

ロイロノートを使って、必要なデータを一度に大量に配付することで時間を節約し、その分、個人でじっくり考え、その後他人と意見を共有し、また自分の意見を再度見直す、という深い学びにつながる時間を確保しやすくなった。

また、色分けされたカードの利用により、一瞬で選ばれたカードの多寡が判断できるようになったが、クラス全員の考えや意見を一度に共有できるのは大きなメリットだと考えられる。今回の物件選びの活動では、提出箱を使って投票形式にしたことで、ちょっとしたワクワク感も授業の中で感じたようであった。

そのとき考えるべきことだけを生徒にはなるべく小出しにして、作業への集中を促すことで、最後にワークシートに授業の内容を簡単にまとめることができるように工夫した。これによって生徒も振り返りができ、教員も一人ひとりの授業中の取り組み状況を把握しやすくなった。